日比谷カレッジ
HIBIYA COLLEGE

中島京子さん講演会

帝国図書館をめぐる、本を愛する人々の物語

写真：川上尚見

明治にできた日本初の国立図書館。その歴史と、作家の〈わたし〉が上野で出会った年上の友人・喜和子さんの人生の物語が重なり合い……。樋口一葉、芥川龍之介、宮沢賢治といった文豪が登場する一方、震災や戦災をくぐり抜け「読みたい、学びたい」という気持ちに応えるべく本を守った人々の奮闘ぶりも描いた小説『夢見る帝国図書館』について、そして「本を読むこと」は人生にどんな意味をもたらすか、図書館の歴史や戦後の女性の生き方などなど、著者の中島京子さんが語ります。

中島 京子　作家

1964年東京都生まれ。出版社勤務などを経て2003年『FUTON』で作家デビュー。2010年『小さいおうち』で直木賞受賞。2014年『妻が椎茸だったころ』で泉鏡花賞受賞。2015年『かたづの！』で柴田錬三郎賞などを受賞。2015年『長いお別れ』で中央公論文芸賞受賞、同作は映画化され今年5月に公開されて話題を呼んだ。近著に『ゴースト』『樽とタタン』など。

2019年
11月27日（水）
19:00〜20:30（18:30開場）

定　員　200名（事前申込順。定員に達し次第締切）
参加費　1000円

日比谷図書文化館
地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）

お申込み
①ホームページの申込みフォーム
②お電話（03-3502-3340）
③ご来館（1階受付）
いずれかにて参加希望の講座名、お名前（よみがな）、お電話番号をご連絡ください。

小学生以下のお子様が参加される場合、保護者の同伴が必要です。（同伴者の方にも参加費が必要です。）

主催　千代田区立 日比谷図書文化館
千代田区日比谷公園1-4（日比谷公園内）
https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

●都営三田線「内幸町駅」
A7出口／徒歩3分

東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線「霞ケ関駅」
B2出口／徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ケ関駅」
C4出口／徒歩3分

JR「新橋駅」
日比谷口（SL広場）／徒歩10分